



まちのわだい ～カメラスケッチ～



姉妹町・津野町から交換留学生

小学生2人が町へ留学

訓子府町の姉妹町・高知県津野町から小学生2人の交換留学生と引率の津野町立葉山小学校の合田教頭が2月2日に来町しました。

今年、来町したのは田中柑菜さん（葉山小学校）、中山未彩さん（中央小学校）の6年生です。

今回の留学生は当初、大地颯真さんと市川菜月さん（以上中央小学校）を含む4人でしたが、インフルエンザの罹患で来られなくなり、中山さんと田中さんの2人の来町になりました。

児童たちは、町の冬の一大イベント「さおさおまつり」やスケート学習など冬の寒さを体験し満喫したほか、勉強や遊びを通じて交流を深め、たくさんの友達をつくり、7日に離町しました。



田中さん（前左から）2人、中山さん（前左から）1人



絵本作家を招き読書セミナー&ワークショップ



絵本作家の堀川真さんを講師に招き、2月8日に「こどもの読書セミナー」、9日に「親子でワークショップ」が町図書館で行われました。

読書セミナーでは、「子どもと本をつなぐということ」と題し、絵本づくりの苦労話や子どもにとって好きな本など、自身の育児体験を交えながら講演しました。

また、ワークショップでは、折り紙やわりばしを使って、紙飛行機の発射台やロケットを作るなど、簡単な工作遊びを行い、参加者たちは楽しんでいました。

くんねっぶの未来づくり大会

災害時の対応学び防災意識を高める

「防災と地域力～大規模停電発生！その時あなたは？地域は？～」をテーマにくんねっぶの未来づくり大会が2月16日に開かれました。

町内外から約80人が参加し、昨年9月6日に発生した大規模停電の際の行動や困ったことなどを地域別に話し合ったあと、西野防災士が「9.6ブラックアウトから見た、地域の防災力」と題して講演し、災害への対応を学ぶ良い機会となりました。



親子で冬のレクリエーション

わくわく園の冬の親子レクリエーションが1月26日にわくわく園グラウンドで開かれました。

晴天に恵まれながらも、冬の寒さが身に染みる中、ソリを使ったりレーヤ宝探しなどが行われ、雪と寒さを楽しみながら親子で交流を深めました。



わくわく園で豆まき

2月3日の「節分」にちなみ、わくわく園で2月1日に豆まきが行われました。

父母も協力し、鬼の衣装を身に付けて、太鼓の音とともに園児たちの前に登場。

園児は新聞紙を丸めて作った豆を一斉にぶつけ「鬼は外、福は内」と叫んだり、泣きながら逃げ回ったりしていました。



オホーツク玉入れ選手権大会

第17回オホーツク玉入れ選手権大会が2月10日に町公民館で開かれ、訓子府町内をはじめ北見市や置戸町、紋別市などからジュニア4チーム、一般13チームが参加しました。

身長よりはるかに高いバスケットをめがけ、1チーム4人から6人の選手が100個の玉を投げ入れる速さを競い、会場内は熱気に包まれました。

一般の部では「紋別アクア」（紋別市）、また、ジュニアの部では「KL-A」（訓子府町）がそれぞれ優勝しました。訓子府町のチームでは一般で5チーム、ジュニアの部で3チームが参加し、練習の成果を発揮しました。

熱き戦いを繰り広げ

